

自分の身は自分で守る。
正しい情報を手に入れる。

災害から身を守るために

いつ起こるか分からない自然災害の驚異。
災害から自分や家族、愛する人の命を守るために、
そして、安心・安全に暮らせるように、
日ごろから防災意識を高めましょう。

まずは地震から身を守る

東日本大震災から2カ月。
この地震は市内各地に大きな被害をもたらしました。このような災害が起こったとき、自分の身を守るために、まず何をすべきかを知っておくことが大切になってきます。

まず、「自分の身の安全を図ること」。落下物をよけてテーブルなどの下で揺れが落ち着くまで待ち、動けるようになったら速やかに外へ避難します。このとき慌てて道路へ飛び出すと、車と接触するなどの危険があるので、必ず

周囲を確認して避難します。

次に、小さい地震でも「火を消す習慣」。しかし、大地震の時、あわてて火を消しに行つて大ヤケドを負う例も少なくありません。慌てず、まず身を守り、激しい揺れが収まってから火の始末をすることが大切です。

そして、「非常脱出口の確保」。大地震時、たとえ建物が揺れに耐えたとしても、倒れてくる家具やガラスの破片などでケガをすることがあります。さらに、家具の転倒や散乱が行く手をはばみ、逃げ遅れや大けがにつながりま

す。事故を防ぎ、スムーズに避難するために、背の高いタンスや本棚、食器棚などの大きな家具は、転倒防止金具や支え棒などで固定し、上に重い物を置かない。窓ガラスには飛散防止フィルムを貼るなど、「倒れる」「落ちる」「割れる」危険を少なくすることが大切です。

正しい情報を手に入れる

災害発生時に重要になるのは災害状況や避難などの情報収集です。普段から情報収集の準備をすることは、災害による被害を最小限に食い止めることに役立ちます。



メールや携帯 Web など最新の情報を手に入れることができる携帯電話

「kasumi@aurapro」
は、ユーザー名の紹介などを行っていきという時は、ユーザー名

災害危機管理ポータルサイトと防災情報メール

〔災害危機管理ポータルサイト〕気象情報や茨城県の発信する防災情報などを集約したホームページです。HP <http://www.pref.ibaraki.jp/bousai/>
〔防災情報メール〕防災に関する情報を電子メールで携帯電話やパソコンに配信しています。

●提供される情報

〔気象関連情報〕▶ 気象情報(大雨、洪水、暴風、波浪、高潮)▶ 土砂災害情報▶ 地震(震度 4 以上)、津波情報▶ 竜巻注意情報
〔避難関連情報〕▶ 避難準備情報▶ 避難勧告▶ 避難指示



防災情報メール登録 QR コード

171

忘れてイナイ? 災害用伝言ダイヤル

▶ 地震などの大きな災害が起きると、家族や知人などに連絡をとるため、電話がつながりにくい状況になります。災害用伝言ダイヤルは、災害発生後に NTT がシステムを稼働し、家族間の安否確認や集合場所の連絡などに利用することができます。

▶ 被災地から伝言を登録する

- 1 局番なしの 171 をダイヤルします。
- 2 1 を入力後、自分の電話番号を市外局番から入力します。
- 3 伝言を録音します。

▶ 伝言を聞く

- 1 局番なしの 171 をダイヤルします。
- 2 2 を入力後、相手の電話番号を市外局番から入力します。
- 3 録音が再生されます。

※携帯電話など他通信事業者の電話からのご利用については、ご契約の各通信事業者にお問い合わせ下さい。

J-ALERT

危機管理

全国瞬時警報システム(J-ALERT)運用開始※

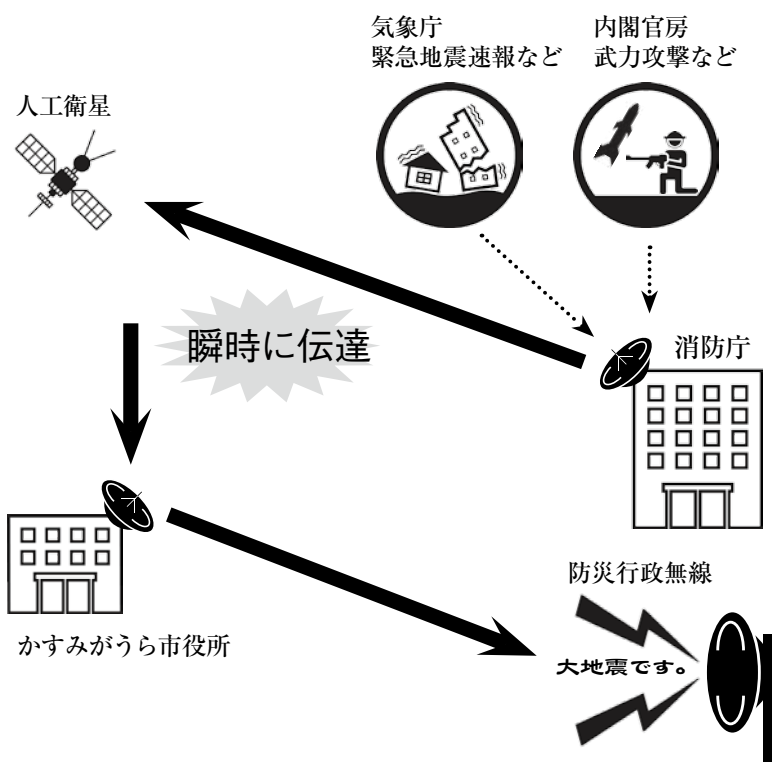
緊急地震速報やテロ攻撃など、時間的に余裕がない事態が起きたときに、国(総務省消防庁)が市の防災行政無線を自動起動させ、瞬時に警報を放送するシステムです。
このシステムにより、市民の皆さんの早期避難や被害の軽減を図ります。

緊急情報を瞬時に警報

全国瞬時警報システム(J-ALERT)は、対処に時間的余裕がない大規模な自然災害やテロ攻撃などに関する情報を、「国から住民まで直接瞬時に」伝達することができ、点が最大の特徴です。

このうち地震は、推定震度5弱以上の地震が発生した場合、緊急地震速報を配信。警告音と「緊急地震速報。大地震です。大地震です。」などの音声で防災行政無線から地震発生を知らせます。速報は火災発生時などと同様、自動的に最大音量で流れる仕組みです。

全国瞬時警報システム(J-ALERT)のイメージ



全国瞬時警報システム(J-ALERT)の放送内容

事態内容	メッセージ
緊急地震速報 (推定震度 5 弱以上)	「緊急地震速報。大地震(おおじしん)です。大地震です。」
震度速報 (震度 5 弱以上)	「震度●の地震が発生しました。火の始末をしてください。テレビ・ラジオをつけ、落ち着いて行動してください。」
ゲリラ攻撃	「ゲリラ攻撃情報。ゲリラ攻撃情報。当地域にゲリラ攻撃の可能性があります。屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください。」
航空攻撃	「航空攻撃情報。航空攻撃情報。当地域に航空攻撃の可能性があります。屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください。」
弾道ミサイル攻撃	「ミサイル発射情報。ミサイル発射情報。当地域に着弾する可能性があります。屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください。」
大規模テロ攻撃	「大規模テロ情報。大規模テロ情報。当地域にテロの可能性があります。屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください。」



※千代田地区は、今年度中に避難所など 30 カ所に小型受信機を設置する予定です。

即時対応。

準備する

予報を重視した「早めの行動」

非常時の持ち出し品は「無ければ困るもの」をそろえます。特別なものを用意するのではなく、毎日の生活の中で最小限のものを準備することが大切です。

気象庁は、気象現象によって災害が起こるおそれのあるときに「注意報」を、重大な災害が起こるおそれのあるときに「警報」を発表して、注意や警戒を呼びかけます。警報や注意報は関係行政機関、都道府県や市町村へ伝達され防災活動などに利用されるほか、市町村や報道機関を通じて地

域住民の方々に伝えられます。

さらに、気象情報も、警報や注意報などと同じように関係行政機関、都道府県や市町村へ伝えられ、防災活動などに利用されるほか、報道機関などを通じて地域住民の方々に伝えられます。気象情報は、警報や注意報と一体のものとして発表し、内容を補完するなど、防災上重要な情報です。このような予報や情報を重視した「早めの行動」が、災害による被害を最小限にとどめることにつながります。

「備えて安心・心強い」非常持ち出し品

各 家庭でいざという時に備える「非常持ち出し品」。避難時にすぐに持ち出すべき、必要最小限の備えの「1次持ち出し品」と避難した後で少し余裕がでてからの数日間(3日間程度)を自足するために必要な「2次持ち出し品」に分類することができます。ライフラインが止まった場合を想定し、各家庭の家族構成に合わせて準備しましょう。以下は参考例です。

1 次持ち出し品

- ①水分(3日分：1人1日3リットルが目安、生活用水も十分に確保)②非常食品
- ③懐中電灯(家族1人に1個)④救急医療品(常備薬、持病薬など)
- ⑤携帯電話⑥携帯ラジオ⑦貴重品(財布、通帳、印鑑、保険証など)

2 次持ち出し品

- ①飲料水②非常食品(各自の嗜好とも照らして、3日分程度をしのぐ食料品)③衣類(季節・個々の状況により必要な物、数量)
- ④生活用品(予備電池、卓上コンロ、ガスボンベなど)⑤洗面具(石けん、歯ブラシ、タオルなど)



家族での避難の確認

災害時にあわてないように家族で定期的に話し合い、災害に備えましょう。家族の集会所や役割分担、連絡方法、非常持ち出し品などについて確認しておく機会としても大切です。

家族との連絡方法や集会所を決める▶家族みんなが一緒にの時に災害が起こるとは限りません。連絡方法や集会所などを決めておきましょう。

家族みんなで避難場所を決める▶実際に避難場所まで歩いてみましょう。このとき、避難場所までの経路や危険な箇所はないか確認をしておきましょう。

非常持ち出し品の準備▶非常持ち出し品が重すぎないか確認をしておきましょう。

災害時の連絡先(電話番号)▶勤務先(学校)▶親戚など▶避難所・避難場所▶かかりつけの病院をあらかじめ確認をしておきましょう。

いざというときは最寄りの施設へ避難を

『かすみがうら市地域防災計画』に基づいた災害時の避難場所など

避難所

被災者の住宅が回復されるまで、あるいは応急仮設住宅へ入居できるまでの一時的な生活の本拠地となる施設

- ▶志筑小学校
- ▶新治小学校
- ▶千代田中学校
- ▶上佐谷小学校
- ▶七会小学校
- ▶下稲吉小学校
- ▶下稲吉中学校
- ▶下稲吉東小学校
- ▶下大津小学校
- ▶美並小学校
- ▶南中学校
- ▶牛渡小学校
- ▶佐賀小学校
- ▶安飾小学校
- ▶北中学校
- ▶志土庫小学校
- ▶宍倉小学校
- ▶わかぐり運動公園体育館
- ▶体育センター

避難場所

災害発生時、生命の安全を確保するために、一時的に避難する場所

- ▶老人福祉センター
- ▶茨城千代田農業協同組合旧志筑支所
- ▶やまゆり保育所
- ▶第2常陸野公園
- ▶関鉄自動車工業
- ▶わかぐり保育所
- ▶稲吉ふれあい公園
- ▶勤労青少年ホーム
- ▶働く女性の家
- ▶逆西防災広場
- ▶牛渡地区公民館
- ▶農村環境改善センター
- ▶安飾地区公民館
- ▶志土庫地区第1公民館
- ▶志土庫地区第2公民館
- ▶大塚ふれあいセンター
- ▶千代田保健センター
- ▶霞ヶ浦保健センター